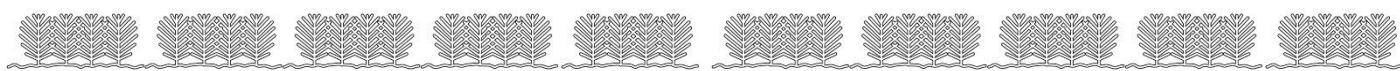


図書館通信

令和元年 11 月号
磯松中学校図書館



朝の冷え込みに、秋の終わりを感じます。特別棟の廊下には、暑さや風雨を乗り越えた見事な菊が今年も並んでいます。寒くなるごとに、ふっくらと豊かに咲く菊は美しいですね。読書の秋、図書館では引き続き「読書ラリー」を行なっています。



文化祭のご来館ありがとうございました

10/26(土)の文化祭では、115名の保護者・地域みなさまがご来館くださり、ありがとうございました。昨年より24名減りましたが、保護者貸出の利用は5名と、昨年より1名増えました。毎年恒例の「図書委員手づくりしおり」のプレゼントも好評でした。来年の文化祭も、ぜひご来館ください。

今月の展示



10月の屋休憩は、文化祭に向けて合唱練習時間となり、元気な歌声が聞こえてきました。毎年楽しみにしている校内風景です。ほとんど図書館を利用する時間はありませんが、そんな中でも延べ人数で234人の貸出利用がありました。(今年度月平均473.6人に比べ、半分の人件数です。)10月の図書館展示をもう少しみなさんに見てほしいので、一部の展示期間を延長しています。展示内容は順次更新します。お楽しみに！

□ 今月の作家 ロバート・ルイス・スティーヴンソン



(1850年11月13日-1894年12月3日)スティーヴンソンは、『宝島』や『ジークル博士とハイド氏』などの発表の後、取材で訪れた南太平洋の島々が気に入り、移住しました。持病のぜんそくによいと感じたからです。島での彼は「語り部」として島民から親しまれたそうです。

933ス 『ジークル博士とハイド氏』海保 眞夫訳 岩波少年文庫 二重人格の代名詞にもなった古典文学。

□ 古典の日 古典芸能～歌舞伎『勸進帳』

日本の古典文化にふれてみませんか？勸進帳の舞台を再現した模型も展示しています。見所は、舞台背景の「松の絵」です。なんと石井恭志先生が絵の具で書いてくださいました！ぜひ見に来てください！

□ 11/1 点字の日

11月1日は日本点字制定記念日です。点字はフランスのブラユが考案したもので、アルファベットを六つの点で示していました。日本でもはじめはローマ字の点字を使用していましたが、1890年のこの日、ひらがなを表す点字が決められました。(図書館の分類では、“8類(言語)”に分類されています。)

岩波ジュニア新書 モニター募集中！入試対策にもおすすめです

図書館通信4月号でもお知らせしていますが、磯松中学校は今年度の岩波ジュニア新書モニターに選ばれています。モニターレポートに参加してくれた人には、ささやかなプレゼントをお渡しします！

〇〇〇〇〇 4月からの岩波書店『岩波ジュニア新書』寄贈一覧〇〇〇〇〇



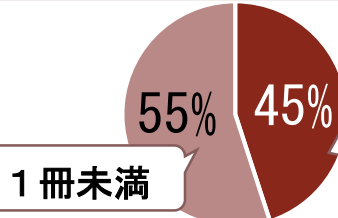
- 159 コ 『「空気」を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』 鴻上 尚史著
- 319 ハ 『内戦の地に生きる フォトグラファーが見た「いのち」』 橋本 昇著
- 104 コ 『ひとりで、考える 哲学する習慣を』 小島 俊明著
- 402 ス 『クマムシ調査隊、南極に行く！』 鈴木 忠著
- 169 エ 『「カルト」はすぐ隣に オウムに引き寄せられた若者たち』 江川 紹子著
- 830 コ 『ポジティブになれる英語名言101』 小池 直己・佐藤 誠司著
- 019 コ 『答えは本の中に隠れている』 岩波ジュニア新書編集部編
- 159 タ 『男子が10代のうちに考えておきたいこと』 田中 俊之著
- 404 モ 『カガクカを強くする！』 元村 有希子著
- 164 オ 『世界の神話』 沖田 瑞穂著
- 375 ナ 『「ハッピーな部活」の作り方』 中澤 篤史・内田 良著
- 783 マ 『ストライカーを科学する サッカーは南米に学べ！』 松原 良香著
- 913 タ 『15歳、まだ道の途中』 高原 史郎著
- 783 モ 『レギュラーになれないきみへ』 元永 知宏著

図書館の利用状況(4月～10月まで)

1ヶ月に1冊以上学校図書館の本を借りている人の割合



1ヶ月の平均貸出冊数
2.4冊/人
 (昨年より0.4ポイント上昇)



1冊以上
 (昨年より1ポイント上昇)